事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：　2022 年　2 月　5 日　　　　　　　　　　事業所名：こどもサポート教室「　きらり　」寝屋川校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パーテーションや机の位置で配慮を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			休職者の分、新入社員が入ることで、配置数は調整できている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			現時点で適切である。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			ミーティングを行い、情報共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表をもとに保護者の意向を確認し振り返り等で意見を聞くようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年、事業所内で評価の周知を行うと共に、評価・改善内容を集約し、ホームページにて公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現時点で行っていないが、今後必要に応じて検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に内部で研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的にアセスメントシートを利用し、モニタリング面談等で確認を行い児童発達支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシート等を利用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個々の指導員がプログラムを立案し連携を取りながら検討している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			本人の状況に合わせ、活動プログラムが固定化しないように指導員間で情報共有を行いプログラムの立案をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			本人の状況に合わせて、課題内容を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動を中心にしながらイベントなどを通じて小集団の活動も取り入れて放課後等デイサービス支援計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に打合せをして役割分担など確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員間で支援で気づいたことなど振り返り共有している。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録を残し次回以降の支援プログラムの立案を行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			６か月ごとにモニタリング面談を行い、支援計画を見直している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			利用者に応じて複数の活動を組み合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの状況に応じて、担当者会議への参加の調整を行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			電話・メール等で連絡を取り、情報共有している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当しない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			発達支援センターと連絡を取り合い、情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			電話や訪問などを行って支援内容の情報を提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要に応じて連携を行っている。感染予防の事もあるが　今後、積極的に連携を行い、研修に参加できるように検討していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現時点では交流の機会が設けられていないので、今後検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	感染予防の関係で参加できていないが、今後状況を見ながら参加していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			振り返りの時間で支援内容やご家庭での様子の情報共有を行い、共通理解を持つようにしている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	振り返りの時間で相談があった場合に、本人との関わりについて提案したりしている。状況を見て実施を検討していく。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や利用状況の確認等で説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			フィードバックの時間で聞き取りを行い、必要に応じて面談、相談も行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年度から保護者のニーズに合わせてママカフェ等を実施しており、保護者同士で連携が取れるよう場を設定している。

	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			「家庭連携」や「事業所内相談」など随時希望があれば迅速に行い対応している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページ、ライン、ポスター等を活用して行事予定を発信している
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			すべて鍵のかかるロッカーなどで管理、写真も含めて外部への流出に気を付けている
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもの特性に合わせて意思疎通や情報伝達をするようにしている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方と交流できるイベントは実施できていないので今後検討していく。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルの作成、訓練は行っている。 利用者様の周知ができていないため周知方法を検討する。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、非常災害に備えた避難訓練等を行っている。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			内部で毎年虐待防止についての研修を行い外部での研修も推進している
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			事前に説明と確認を行ったうえで、支援計画に記載している。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメントシート等を利用し面談で確認を行っている。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの状況報告書を作成し、事業所内で共有している。

保護者等向け　放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：　2022年　2月　　5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」寝屋川校　　　保護者等数（児童数）：25　回収数：　22　割合：88 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	１８	４		・ 待合場所が狭い。広い部屋が使えないときがある。⇒パーテーションや机の位置で配慮を行っているが今後検討していく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	２０	２		・先生のお休みの時も代わりの先生に同じように聞きたい。⇒情報共有、引継ぎを強化していきたい。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	１９	３		⇒利用者に合わせてその都度行っているが、足りない部分は聞き取り検討させていただく。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画[i]が作成されているか	２２			
	⑤	活動プログラム[ii]が固定化しないよう工夫されているか	２０	２		⇒本人の状況に合わせ、活動プログラムが固定化しないように指導員間で情報共有を強化していきたい。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		１２	１０	・特別知りたいと感じていません。機会がありませんでした。⇒現時点では交流の機会が設けられていないので、今後検討していく。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	２２			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	２１	１		・ 違う先生の時、相談にはあまりのれない。⇒担当ではない職員も保護者とコミュニケーションをとっていくことを意識していきたい。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	１８	３	１	⇒振り返り等で行っているが、さらに家庭連携や事業所内相談など提案していきたい。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	１１	９	２	・私が求めていないので、よく知りません。都合が合わず参加できていない。⇒ママカフェや保護者同士の連携の機会を設けているが、更に保護者さんのニーズに合わせた連携が支援できるように検討していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	１８	４		⇒「家庭連携」や「事業所内相談」など随時希望があれば迅速に行い対応していく。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	１８	４		⇒子どもの特性に合わせて意思疎通や情報伝達を行うように努めていく。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	１３	9		・私が知らないだけなのかもしれません。⇒ラインを中心に発信しているが、ホームページ等も周知していきたい。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	２２			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	１５	7		⇒マニュアルの作成、訓練は行っている。利用者への周知ができていないため周知方法を検討する。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	１２	3	・わかりません。⇒職員の非常災害に備えた避難訓練等行っているが、利用者の参加は今後検討していきたい。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	１７	3		・ 優先順位は高い方ではない。 ＊記入漏れ２名
	⑱	事業所の支援に満足しているか	１８	2		・ いつもありがとうございます。SST の充実やペアレントトレーニングなどあるともっと嬉しいです。 ・ いつもの先生をとても信頼しているので、（親子）違う先生になった時も同じように相談にのりたいし、支援も受けさせてほしいです。⇒放課後等デイサービス評価を元に、支援内容、サービスの向上に向けて検討していきたいと思います。 ＊記入漏れ２名

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。